

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

いま私たちの生き方が問われている 近畿の仲間とともに 障害児教育の発展めざす運動を

全障教部近畿ブロック協議会 秋の学習交流集会 (京都)

10月21日、22日、全障教部近畿ブロック協議会主催の学習交流集会が京都市内で開催されました。2日間を通じて近畿各府県より約70人が参加し、半数以上は青年組合員でした。大障教からも青年組合員を中心に8分会10人が参加し、近畿の仲間との交流を深めました。

小さくとも問題意識を持っていたい

21日は「青年教師としての悩みと願い」と題して、3人の青年がレポート報告を行いました。

西口寛子さん(和歌山・さくら支援学校)は「ゆるいまるに関わって」というテーマで、沖縄について学び、自分がこつありたいと思う方向を見つけたと述べました。そして、大きなことはできなくても、小さくとも問題意識を持っていたい。そのために組合の一員でありたいと語りました。

高橋翔吾さん(大阪・泉大津市立旭小学校)は「がんばる力は、教育実践と組合活動の統合と素敵な仲間」というテーマで、通常学級での実践を語り、同じく志を持つ仲間が存在によって、自分は頑張っていると報告しました。

黒木遥さん(奈良・明日香養護学校)は「障害児教育に携わって」というテーマで、忙しい毎日の中で、どうしたら心にゆとりを持って、柔らかい人になれるのだからと悩む気持ちを述べました。それでも執行委員会に出席し、新たな視点で学ぶことで、普段のぎゅづぎゅづになつた頭を解放できる」と語りました。

報告を受けた討論の後、助言者の越野和之さん(奈良教育大学教授)は、「おかしい」と漠然と思った時、その人以上に「おかしい」と言つのが組合の役割ではないかと述べ、一人ひとりの意見を大切に聞き取って、皆のものにしていくこ

大障教参加者の感想です!

内容が盛りだくさんの中、共感できることが多々あって、日頃モンモンとした気持ちが和らぎました。ありがとうございます。青年のレポートということで、年の近い先輩たちが同じように悩んだり、その中でも子どもたちのために奮闘したりしている様子が分かって良かったです。私も例えば、数年後にあんなレポートが書けるように、日々良い実践ができればと思います。中立の立場とは...、目指す先輩像は...などの話が楽しかったです。子どもに対してだけでなく、自分に対しても振り返る機会になりました。経済と権力が学校教育に関係すること、学校教育が選挙に関係することを筋道立ててというか...すっきりと理解することができた。『無知=無力』の話と、25条(健康=心&体。心には文化を。文化にはお金がかかる)の話が印象強かったです。

とが民主主義などと訴えました。

9条改憲を阻止する運動をさらに広げよう

22日は中田進さん(関西勤労者教育協会副会長)が、「誰でも分かる社会と教育のかわり」改憲のねらい」と題して講演しました。中田さんは痛恨の歴史の反省から、権力を縛り、主権在民・平和主義・基本的人権・議会制民主主義・地方自治を謳って制定された日本国憲法が、安倍内閣によって、戦後最大のピンチに立たせられていると述べました。

中田さんは、9条改憲阻止のために広範な人々が結集しようとしていることや、核兵器禁止条約が採択されたことにも触れながら、子どもたちの未来と自分自身の幸せのためにも、今私たちの生き方が問われているのではないかと訴えました。

22日は中田進さん(関西勤労者教育協会副会長)が、「誰でも分かる社会と教育のかわり」改憲のねらい」と題して講演しました。中田さんは痛恨の歴史の反省から、権力を縛り、主権在民・平和主義・基本的人権・議会制民主主義・地方自治を謳って制定された日本国憲法が、安倍内閣によって、戦後最大のピンチに立たせられていると述べました。

中田さんは、9条改憲阻止のために広範な人々が結集しようとしていることや、核兵器禁止条約が採択されたことにも触れながら、子どもたちの未来と自分自身の幸せのためにも、今私たちの生き方が問われているのではないかと訴えました。



DNA情報の解析技術の進歩により、犯罪捜査にDNAが利用されることが当たり前のようになってきました。現在は個人の識別だけでなく、遺伝的疾患や人種・家族に関する情報を得ることもでき、まさに「究極のプライバシー」です。

警察は2005年までにDNA型記録の運用を始め、当初2千人程度だった被疑者DNA型の登録件数は、2014年末には59万人に膨れ上がりました。被疑者でもない多数の参考人から、任意で幅広くDNA試料を集めるケースも出ています。

そもそも、警察によるDNA利用には法的根拠がなく、国家公安委員会規則と警察の内規だけで運用されているため、実態は明らかではありません。例えば、国家公安委員会の規則には「保管の必要性が失われれば廃棄する」とあるだけで、その基準は不明確です。被疑者の無罪が確定した場合はどうするのかの記述はありません。

警察庁も、参考人から提供を受けたDNA情報はデータベースに入力せず、必要性がなくなつた場合の廃棄を徹底していますが、実際に廃棄されたかどうかを外部検証できるシステムはありません。

2009年に横浜市内で起こつた窃盗事件で、警察はデータベース検索を基に、ある男性の逮捕状と家宅捜索令状を取りました。しかし、この男性のDNA情報が、別人と誤って入力されていたことが捜査後に判明しました。一歩間違えば重大なえん罪を招く恐れもあるのです。

DNA捜査に詳しい弁護士は、捜査におけるDNA利用の範囲や保管期間、記録の削除、事後の検証、救済機関の設置など、法整備の必要性を指摘しています。

「ゆきとどいた教育を求める教育」の実現を！

教育全国署名をすすめよう



11月4日、「大阪の障害児教育をよくする会」「大阪府立高校30人学級をすすめる会」「大阪市立高校30人学級をすすめる会」「大阪私学助成をすすめる会」「子どもと教育・文化を守る大阪府民会議」の5団体による「教育全国署名」京橋宣伝が行われ13人が参加しました。大障教からも4人が参加し、「障害児教育の充実を！」「少人数学級実現を！」「奨学金制度の充実を！」と訴え、宣伝・署名行動を行いました。



土曜日の京橋駅コンコースは人通りも多く、色とりどりの風船を見て近づき訴えを聞いてくれた親子連れ、部活や試合帰りの学生の集団、「裁判所に勤めていま

す」と話しかけてきた人など、たくさんの人々が署名をしてくれました。中でも若いお母さんが「うちの子はまだ小さいけど、学校行ったら心配、年配の男性が「教育にはお金をかけなアカン」と署名をしながら話されていたのが印象的でした。



対話する久保書記長

大阪の今年度の署名目標は公立・私学を合わせて50万筆です。大障教は12月4日時点で22分会1367筆を集約していますが、各分会でさらに積極的にとりこんでいただきますようお願いいたします。



風船を手に署名を訴えました

学ぶなら 今こそつながろう 光り輝く 子どもたちの未来のために

第17回 全国障害児学級&学校 学習交流集会 in 奈良

日程：1月6日(土)～8日(月)

今回のおすすめは、何と言っても1日目の記念講演、丸山啓史さんの「子どもの気持ちの育ちと発達保障」です。特に、若い先生方にお勧めです。丸山さんのお話を聞く機会は限られていますので、絶好のチャンスだと思います。きっと、3学期になって子どもを見る見方が変わってくると思いますよ！1日目だけの参加でももちろんOK!です。ぜひ、ご参加くださいね!!



鈴木浩司
(四條畷校分会)

すみません、今回は青年からの呼びかけではありません...。ご了承を。(情宣部)

分会紹介

分会名：佐野支援学校分会

第14回

分会長：辻内俊哉

障害種別：知的障害

児童生徒数：371人

どんな分会?：本校は大阪府南部、関西空港のある泉佐野市にある知的障害児の学校です。豊かな自然に囲まれた素敵な環境ですが、交通の便はいまいちです。児童生徒数が多く、過密過大のピークのときは全国のワースト10に名を連ねたこともあります。新校開設で少し緩和されましたが、近年再び児童生徒数は増加し、またまた教室不足になってきました。自分たちの権利を守り、働きやすい職場にしようとする組合員が奮闘しています。しかし多忙のため、なかなか組織活動が滞っているところもあり、ふんばらねばと思うこのごろです。